

Prof.Dr. Inoue からの情報発信

『海に学ぶ・船で学ぶ』

大切なことは、《なぜ海・船が学びの場として最適なのか？》を論理的に理解し納得すること

フローティングスクールの取り組み
『子供たちを船上で学ばせる意義』

《なぜ海・船が学びの場なのか？》を分かり易く解説しました》

阪神淡路大震災の時に、船の利用は発生から数日を経過してからのことだった。発災後、迅速な船舶活

最近、海洋基本法制定を機に、海や船が学びの場として最適なのか？を論理的に理解し、納得すること

平成19年5月20日（[日本文学交通省近畿地方整備局が神戸港湾事務所築港資料館で](#)）
[回](#)において、井上教授が『なぜ海・船が学びの場なのか？の取組をわが国に学ぶ』を解説

「うみ」「ふね」「みなと」と「教育」のリンケージ

大きな自然の海に学び、小さな社会の船で生活をし、実生活に必要な規律や秩序を身につけて非日常的

「海に学ぶ」「船で学ぶ」そして「世界を知る」

「海に学ぶ」：心にゆとりをもたらす海というフィールドを学習の場とすることができる。

「船で学ぶ」：船は団体生活や共同作業を通じて努力する、耐える、協力することを学べる。

「世界を知る」：海の道は世界に通じています。国際性、人間性、情緒性が養われます。